

# 朝来市景況調査書

令和4年度 第4四半期

(調査対象：令和5年1月～3月)

朝来市商工会

令和5年6月

## 【目次】

1. 景況調査について .....	2
2. 朝来市の景況推移（直近6回の調査） .....	4
3. 業種ごとの集計 .....	4
①建設業（有効調査書数：38件） .....	5
②製造業（有効調査書数：44件） .....	7
③小売業（有効調査書数：50件） .....	10
④サービス業（有効調査書数：62件（内、飲食店：11件、宿泊業7件）） .....	13
（参考文献） .....	19

## I. 景況調査

### 1. 景況調査について

#### ○本調査書作成の目的

朝来市内事業者が主要商圈とする朝来市地域、但馬地域、及び兵庫県内の経済動向を調査し、市内の業種別産業構造を把握することで、効果的な将来予測、及び経営計画の策定等に繋げることを目的とします。

#### ○本調査書の作成方法

朝来市商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に、他の調査や情報を比較して調査書を作成します。

#### ○『D.I.』について

D. I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、  
「良い」20% - 「悪い」30% = ▲10%  
となり、D. I. 値は▲10ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10 件	20%
不変	25 件	50%
悪い	15 件	30%
合計	50 件	100%

#### ○参考とする調査書と有効回答数について

本調査書の作成にあたり、株式会社みなと銀行が四半期毎に実施する「兵庫県内中小企業の景況調査」、および但馬信用金庫が四半期毎に実施する「但馬管内の景気動向調査」の調査結果を参照しています。

#### (対象期間 (R5. 1~3 月) における有効回答数)

	建設業	製造業	小売業	サービス業
兵庫県内中小企業の景況調査 (株みなと銀行)	301	406	99	131
但馬管内の景気動向調査 (但馬信用金庫)	103	89	82	164
朝来市景況調査書 (朝来市商工会)	34	39	48	71

#### ○業種の分類について

本調査書では、朝来市内事業所における卸売業は「小売業」とあわせて集計しています。

## ◆令和3年度調査からの変更点◆

### <①実施時期について>

令和2年まで、朝来市内の景況調査は1年間に「上期(1月～3月)」、「下期(7月～9月)」の計2回実施しておりましたが、令和3年度より四半期ごとに実施いたします。

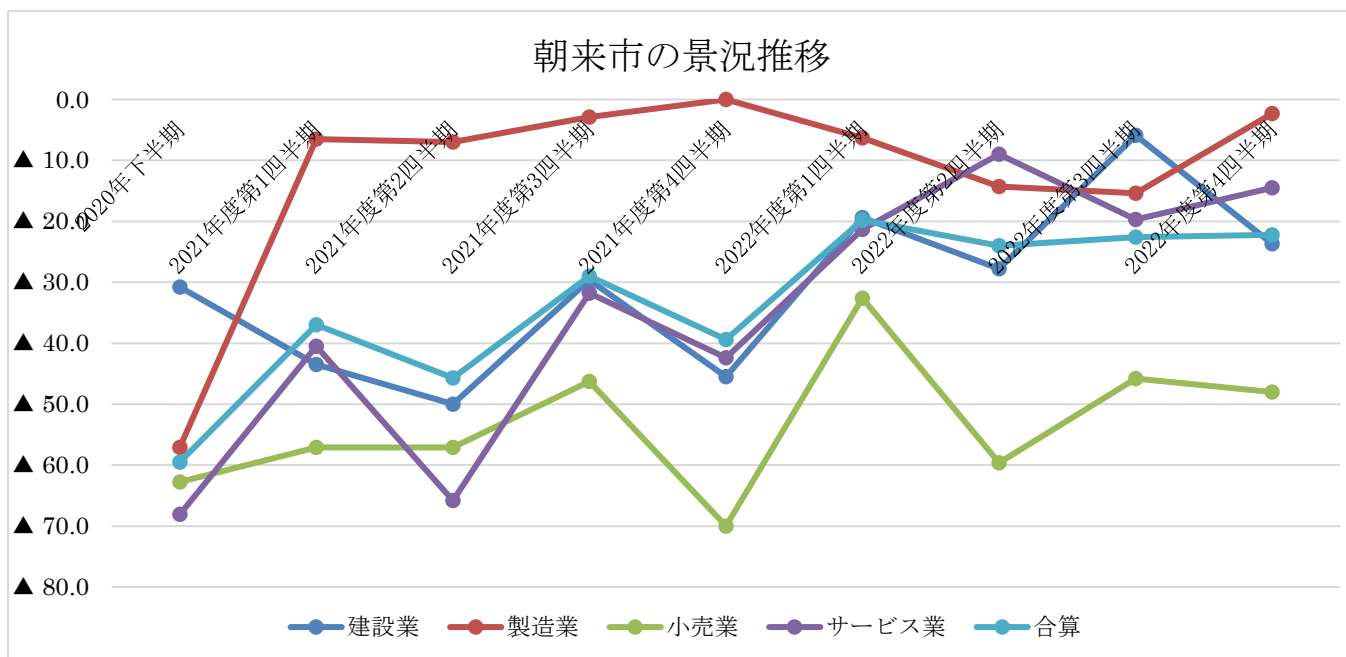
### <②サービス業の区分>

今年度よりサービス業全体に加えて、「飲食店のみ」、「宿泊業のみ」のD.I.値も計算しております。詳しくは「サービス業」の調査結果ページにてご確認ください。

### <③部門ごとのD.I.値>

製造業、卸売・小売業についてもサービス業と同様、複数回答を得られた業種から、細かく分類しD.I.値を掲載しています。

## 2. 朝来市の景況推移



	2021年度 第3四半期 (R3.10~12月)	2021年度 第4四半期 (R4.1~3月)	2022年度 第1四半期 (R4.4~6月)	2022年度 第2四半期 (R4.7~9月)	2022年度 第3四半期 (R4.10~12月)	2022年度 第4四半期 (R5.1~3月)
建設業	▲29.6 (27件)	▲45.5 (22件)	▲19.5 (36件)	▲27.8 (36件)	▲5.8 (34件)	▲23.6 (38件)
製造業	▲2.9 (35件)	0.0 (39件)	▲6.8 (48件)	▲14.3 (49件)	▲15.4 (39件)	▲2.3 (44件)
小売業	▲46.3 (41件)	▲70.0 (40件)	▲32.6 (43件)	▲59.6 (42件)	▲45.8 (48件)	▲48.0 (50件)
サービス業	▲31.8 (66件)	▲42.4 (59件)	▲21.4 (75件)	▲9.0 (77件)	▲19.7 (71件)	▲14.5 (62件)
合算	▲29.0 (169件)	▲39.4 (160件)	▲19.8 (202件)	▲24.0 (204件)	▲22.6 (192件)	▲22.2 (194件)

(※回答数 199 件、うち業況未回答 5 件)

直近 6 回の調査における「業況 (自業種の景気動向)」の集計結果の推移を示しています。表の上段の数値は D. I. 値、下段の数値はその時の集計件数を示しています。

令和 5 年 1 月～3 月は建設業が減少、製造業、サービス業が上昇を見せ、小売業は前回と似た数値の結果となりました。新型コロナウイルス感染症は規制緩和の方向に進む一方、原油高や材料費高騰は依然として問題となっており、その影響も続いております。

### 3. 業種ごとの集計

#### ①建設業（有効調査書数：38件）

○昨年(1月～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(1件未回答)

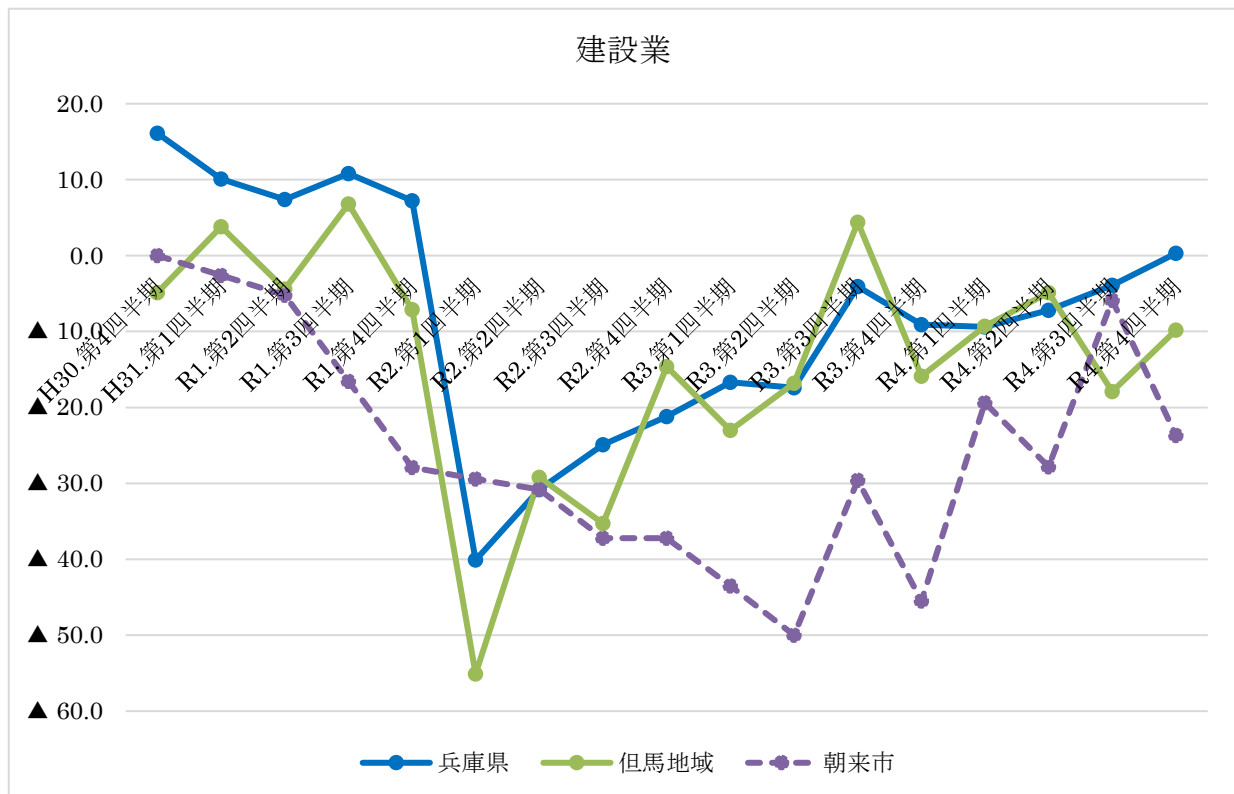
	件数	構成比
好転	5件	13.2%
不変	19件	50.0%
悪化	14件	36.8%

前回調査と比較し「悪化」と回答した事業所が多くなり、D.I.値は減少を見せました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	0.3ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲9.8ポイント
朝来市	▲23.6ポイント

兵庫県全域ではプラス値を示しており、地域差が前回の調査より大きくなっています。

○建設業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域のD.I.値はR4年度の第1四半期より連続で上昇しており、朝来市は第3四半期(10月～12月)より減少しております。

○経営上の問題点（建設業－朝来市）

	2022 年度第 1 四半期	2022 年度第 2 四半期	2022 年度第 3 四半期	2022 年度第 4 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	熟練技術者の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難
3 位	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	人件費以外の経費の増加	熟練技術者の確保難

令和 4 年度は 1 年中を通じて「材料仕入れ単価の上昇」が最も多い経営課題と回答を頂きました。原油高騰、物価高騰の影響を継続して受けていたと考えられます。2 位の「従業員の確保難」3 位の「熟練技術者の確保難」も、常に課題として挙がってきていました。

○経営状況や今後の方針について（建設業－朝来市）

創業 5 年未満	0 件
売上・事業拡大	12 件
現状維持	22 件
事業承継への取り組み	8 件
廃業を検討	1 件

※複数回答あり

・廃業を検討（1 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	1 件

②製造業（有効調査書数：44件）

○昨年(1月～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(1件未回答)

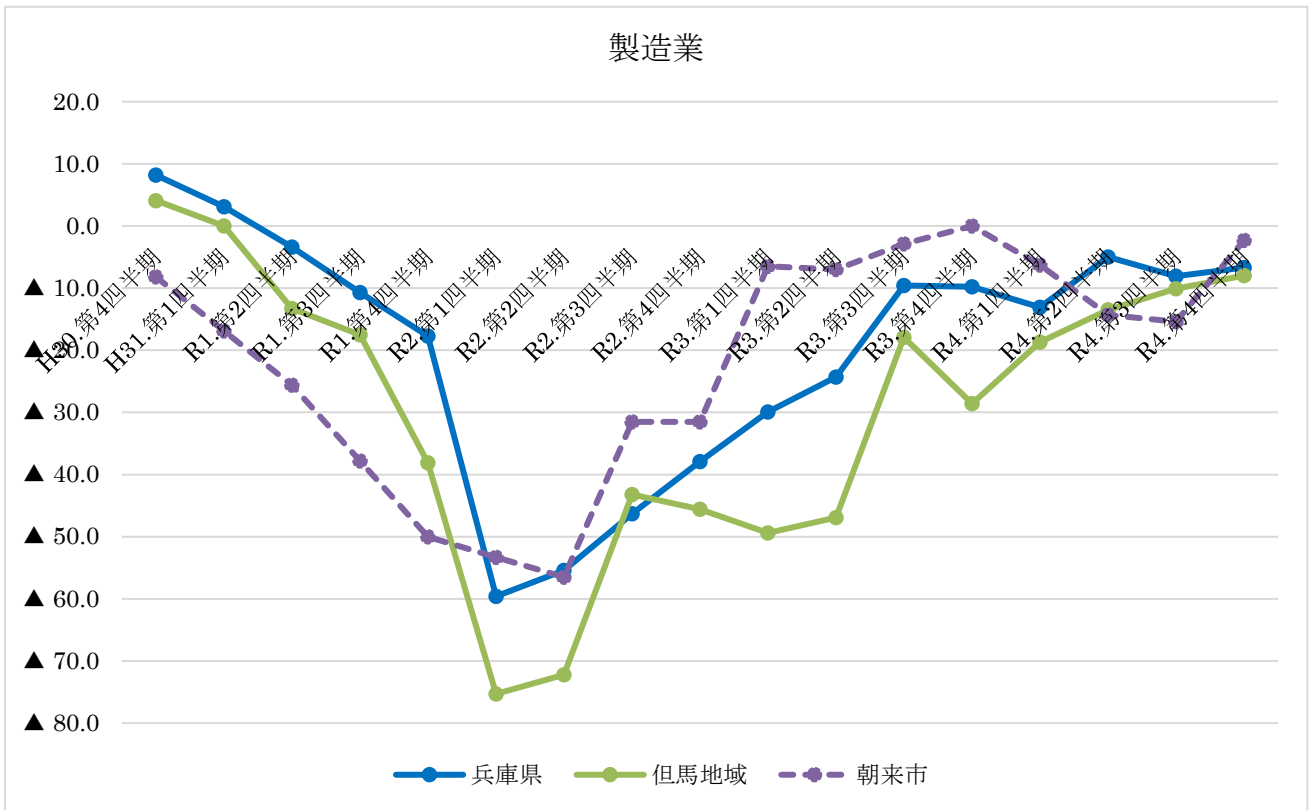
	件数	構成比
好転	13件	29.5%
不変	17件	38.6%
悪化	14件	31.8%

好転と回答した企業が増加し、D. I. 値は改善を見せました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲6.7ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲8.0ポイント
朝来市	▲2.3ポイント

朝来市において、今回対象の4業種では最も高い数値を示しており、他地域を超えています。

○製造業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域、朝来市内では上昇の結果となりました。朝来市では第2四半期、第3四半期で減少を見せましたが、今期調査で再度上昇しております。



○経営上の問題点（製造業－朝来市）

	2022 年度第 1 四半期	2022 年度第 2 四半期	2022 年度第 3 四半期	2022 年度第 4 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	従業員の確保難	人件費以外の経費の増加	人件費以外の経費の増加	人件費以外の経費の増加
3 位	人件費以外の経費の増加	店舗施設の老朽化	従業員の確保難	従業員の確保難

建設業同様に「材料仕入単価の上昇」が1年間を通じて最も多く課題として回答がありました。「人件費以外の経費の増加」も3期連続で2位に上がっており、原油高騰、物価高騰の影響が1位、2位から見られます。従業員の確保難も多くの企業が回答しています。

○経営状況や今後の方針について（製造業－朝来市）

創業5年未満	0件
売上・事業拡大	20件
現状維持	16件
事業承継への取り組み	12件
廃業を検討	3件

※複数回答あり

・廃業を検討（3件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	1件
事業譲渡なども、全く考えていない	3件

## ○製造業種ごとの D. I. 値について

※複数回答を頂けた業種を 3 件掲載します。

### ・ 金属製品に関する製造業（金属製品、金属加工、部品製造など）

	件数	構成比
好転	3 件	25.0%
不変	4 件	33.3%
悪化	5 件	41.7%
D. I. 値	—	▲16.7 ポイント

### ・ 食品関連の製造業（食料品、飲料、調味料など）

	件数	構成比
好転	5 件	50.0%
不変	5 件	50.0%
悪化	0 件	0.0%
D. I. 値	—	50.0 ポイント

### ・ 繊維製品製造業（縫製、紙器、印刷業など）

	件数	構成比
好転	1 件	12.5%
不変	1 件	12.5%
悪化	6 件	75.0%
D. I. 値	—	▲62.5 ポイント

製造業の中でも、複数回答を頂けた業種の D. I. 値を算出いたしました。金属製品に関する製造業、繊維製品の製造は減少となり、特に繊維製品の製造業は前回調査より大きく減少しています。一方で食料品・飲料等の製造は悪化と回答した事業所は 0 件でした。

③小売業（有効調査書数：50件）

○昨年(1月～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(2件未回答)

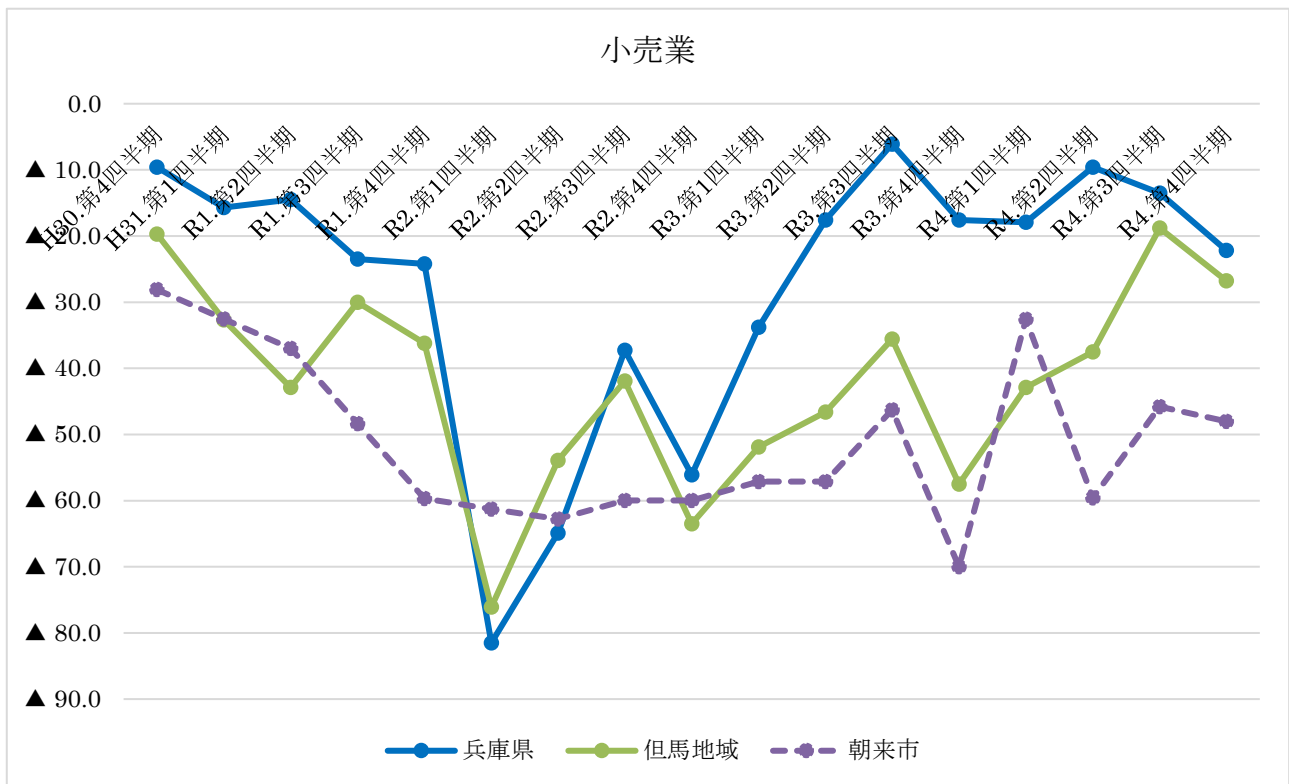
	件数	構成比
好転	4件	8.0%
不変	18件	36.0%
悪化	28件	56.0%

D. I. 値は前回調査（10月～12月）と同様の数値となりました。調査の4業種では最も低い数値となっています。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲13.5ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲26.8ポイント
朝来市	▲45.9ポイント

朝来市景況調査では小売業が最も低い数値を示しており、兵庫県全域・但馬地域も同様です。

○小売業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

但馬地域は回復を見せておりますが、朝来市は厳しい状況が続いております。今年度は第2四半期(7月～9月)が最も低いD. I. 値を示し、10月以降は横ばいになっています。

○経営上の問題点（小売業－朝来市）

	2022 年度第 1 四半期	2022 年度第 2 四半期	2022 年度第 3 四半期	2022 年度第 4 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	需要の停滞	人件費以外の経費の増加	利用者ニーズの変化への対応	利用者ニーズの変化への対応
3 位	利用者ニーズの変化への対応	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞

第 4 四半期の「経営上の問題」の順位は、第 3 四半期と同様の結果となり、材料仕入れ単価増が 4 期連続で 1 位であることから、物価高増の影響が続いていると見られます。また上記 3 点以外では、人件費以外の経費増も回答数が多くなっています。

○経営状況や今後の方針について（小売業－朝来市）

創業 5 年未満	2 件
売上・事業拡大	19 件
現状維持	21 件
事業承継への取り組み	10 件
廃業を検討	6 件

※複数回答あり

・廃業を検討（6 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	1 件
事業譲渡なども、全く考えていない	4 件

※1 件未回答

## ○小売・卸売業種ごとのD.I.値について

※複数回答を頂いた業種を2件掲載します。

### ・織物・衣服・化粧品・身の回りの品、などの小売業

	件数	構成比
好転	1件	6.7%
不変	5件	33.3%
悪化	9件	60.0%
D.I.値	—	▲53.3ポイント

### ・飲食料品に係る小売・卸売業

	件数	構成比
好転	0件	10.0%
不変	3件	37.5%
悪化	5件	62.5%
D.I.値	—	▲62.5ポイント

「織物・衣服・身の回りの品、などの小売業」は前回調査と同程度の数値となり、「飲食料品にかかる小売業、卸売業」は「好転」と回答した企業が0件であり、D.I.値が減少となりました。

また少数の回答ですが、他小売業は以下の通りとなっています。

- ・写真機・時計・眼鏡小売業…「不変」1件、「悪化」2件
- ・EC、インターネット販売等…「悪化」2件

④サービス業（有効調査書数：62件）

○昨年（1～3月）と比較して、今期の業況はいかがですか？（1件未回答）

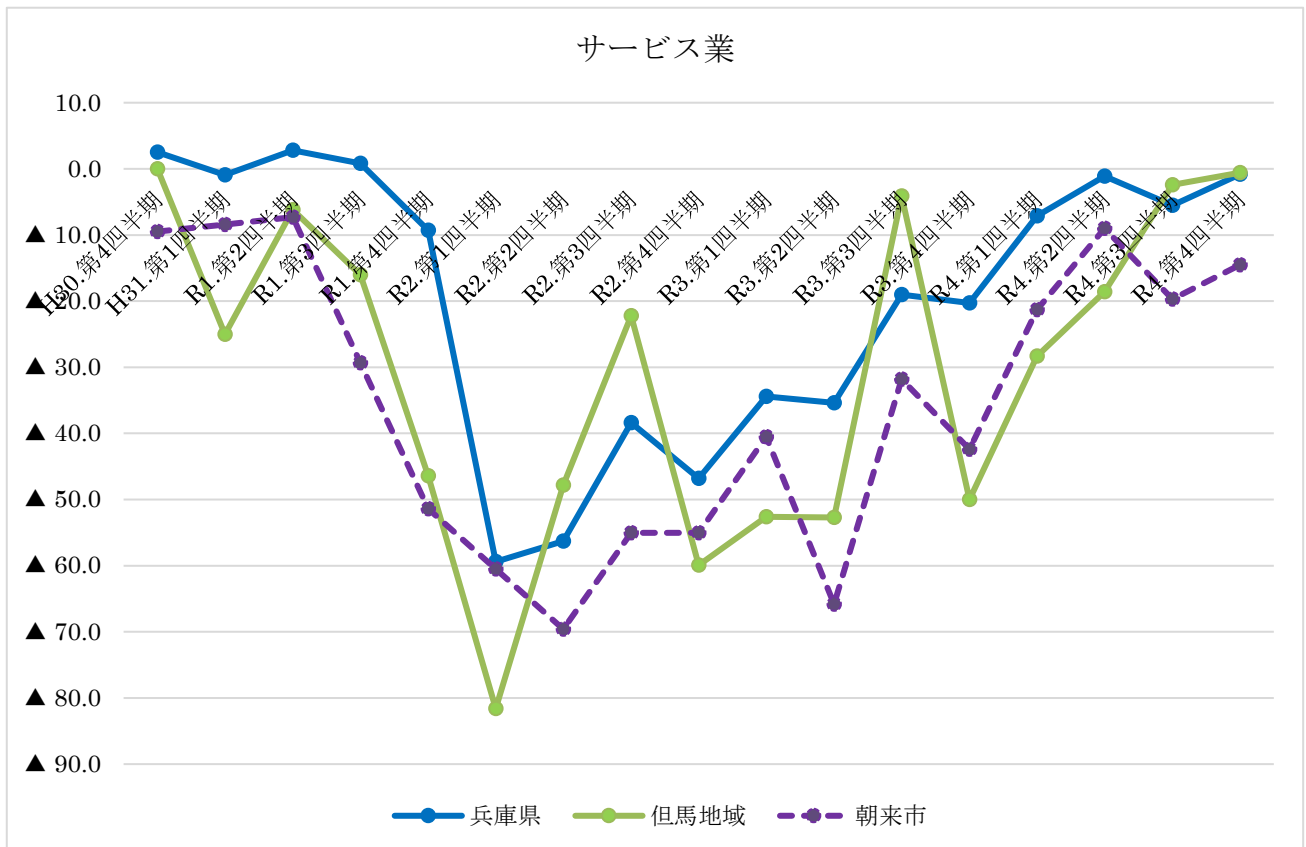
	件数	構成比
好転	10件	16.1%
不変	33件	53.2%
悪化	19件	30.6%

前回より「悪化」と回答した事業所が減り、D.I. 値も若干の上昇を見せています。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲0.8ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲0.6ポイント
朝来市	▲14.5ポイント

全地域で改善傾向にあります。朝来市は他地域と比較し低いD.I. 値となっています。

○サービス業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期（9～12月）、R3年1期（1～3月）の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域、但馬地域、朝来市すべてで前回調査よりD.I.値が改善しています。また前年同時期と比較しても改善しており、但馬地域は特に改善幅が大きくなっています。

○経営上の問題点（サービス業－朝来市）

	2022 年度第 1 四半期	2022 年度第 2 四半期	2022 年度第 3 四半期	2022 年度第 4 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	利用者ニーズの変化への対応	店舗施設の老朽化	人件費以外の経費の増加	店舗施設の老朽化
3 位	店舗施設の老朽化	人件費以外の経費の増加	店舗施設の老朽化	人件費以外の経費の増加

小売業と同様に材料仕入単価の上昇が最も多い回答となっており、物価高や材料費高騰の影響を大きく受けていると見られます。新型コロナウイルス感染症の規制が緩和された一方、仕入単価増は大きな問題になっています。

○経営状況や今後の方針について（サービス業－朝来市）

創業 5 年未満	5 件
売上・事業拡大	21 件
現状維持	32 件
事業承継への取り組み	11 件
廃業を検討	3 件

※複数回答あり

・廃業を検討（3 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	1 件
事業譲渡なども、全く考えていない	2 件

## ○サービス業種ごとのD.I.値について

※飲食店、宿泊業、また複数回答を頂けた業種を2件掲載します。

### ・飲食店

	件数	構成比
好転	4件	40.0%
不変	3件	30.0%
悪化	3件	30.0%
D.I.値	—	10.0ポイント

### ・宿泊業

	件数	構成比
好転	2件	28.6%
不変	3件	42.8%
悪化	2件	28.6%
D.I.値	—	0.0ポイント

### ・洗濯・理容・美容・浴場業

	件数	構成比
好転	1件	12.5%
不変	5件	62.5%
悪化	2件	25.0%
D.I.値	—	▲12.5ポイント

### ・自動車整備サービス、運送業など

	件数	構成比
好転	2件	16.7%
不変	6件	50.0%
悪化	4件	33.3%
D.I.値	—	▲16.6ポイント

飲食店は若干の上昇、宿泊業は前回と同様の数値となりました。洗濯・理容・美容・浴場業は大きく改善しており、自動車整備サービス、運送業も改善を見せています。



**(参考) 全データの集計**

○経営者、事業主の年齢を教えてください

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
20代	0	0	0	0	0
30代	2	3	1	2	8
40代	9	7	5	9	30
50代	8	11	16	21	56
60代	14	17	9	19	59
70代以上	5	7	21	12	45

○朝来市商工会に望むことについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
経営全般への相談	4	5	13	13	35
補助金・助成金の相談	24	20	23	34	101
各種認定について	5	1	3	7	16
IT化について	5	4	6	8	23
税務・労務について	7	8	8	13	36
特に相談等は無し	7	16	11	15	49

○経営状況や今後の方針について教えてください

(複数回答可能)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
創業5年未満	0	0	2	5	7
売上・事業拡大	12	20	19	21	72
現状維持	22	16	21	32	91
事業承継への取り組み	8	12	10	11	41
廃業検討	1	3	6	3	13

※廃業を検討される方

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
事業譲渡や引き渡しを検討	0	0	1	1	2
事業譲渡なども、全く考えていない	1	3	4	2	10

○雇用者数について教えてください

【正社員(正規雇用)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	8	8	19	20	55
1人～5人	15	13	20	28	76
6人～10人	6	4	7	6	23
11人～20人	2	4	1	4	11
21人以上	6	15	1	2	24
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	21	20	8	14	63
適正人数である	10	16	21	26	73
雇い入れが過剰である	0	0	0	1	1
雇用していない・しない	6	5	17	16	44
新型コロナウイルス感染症の影響で 解雇・雇い止めを実施	0	0	0	0	0

【パートタイマー(アルバイト)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	20	15	22	21	78
1人～5人	15	17	19	30	81
6人～10人	0	1	1	5	7
11人～20人	0	6	2	2	10
21人以上	0	2	0	1	3
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	5	11	4	11	31
適正人数である	15	18	20	33	86
雇い入れが過剰である	0	0	0	0	0
雇用していない・しない	12	9	20	15	56
新型コロナウイルス感染症の影響で 解雇・雇い止めを実施	0	0	0	0	0

○令和4年10～12月と前年同期(令和4年10～12月)を比較した状況について教えてください

		建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
業況	好転	5	13	4	10	32
	同じ	19	17	18	33	87
	悪化	14	14	28	19	75
売上	増加	8	1	0	0	9
	同じ	16	6	0	10	32
	減少	14	1	4	6	25
販売価格	増加	3	0	1	1	5
	同じ	26	2	3	0	31
	減少	8	6	0	2	16
仕入価格	増加	0	4	4	3	11
	同じ	5	2	9	13	29
	減少	32	38	35	45	150
資金繰り	好転	2	0	0	4	6
	同じ	28	7	29	40	104
	悪化	8	1	17	14	40

○今期の経営上の問題点を教えてください(上位3つまで)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
大企業の進出による競争の激化	1	1	9	2	13
新規参入業者の増加	1	0	4	5	10
利用者ニーズの変化への対応	5	9	19	15	48
店舗施設の老朽化	4	9	13	24	50
人件費の増加	4	9	5	10	28
人件費以外の経費の増加	12	27	19	20	78
利用料金の低下・上昇難	2	3	4	8	17
材料等仕入単価の上昇	29	37	25	30	121
金利負担の増加	0	0	0	1	1
事業資金の借入難	2	0	2	4	8
従業員の確保難	18	17	5	16	56
熟練技術者の確保難	18	5	4	8	35
需要の停滞	10	5	19	12	46
その他	2	1	4	7	14

## (参考文献)

兵庫県内中小企業の景況調査／株式会社みなと銀行  
但馬管内の景気動向調査／但馬信用金庫

「朝来市景況調査書」についてのお問い合わせ先

### 朝来市商工会

〒669-5201 朝来市和田山町和田山 404

電話：079-672-2362 FAX：079-672-4844

URL：<http://www.asago.org/> メール：[shokokai@asago.org](mailto:shokokai@asago.org)